

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)乙第 57 号	氏名	マーチン・ブンディ
学位審査委員	主 査	西田 教行	
	副 査	柳原 克紀	
	副 査	内藤 真理子	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、ケニアで分離されたコレラ菌流行株の生化学的および分子生物学的性状の継時的変遷を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>1975 年から 2017 年までにケニアで発生したコレラ流行時に分離・保存された 146 株とアジアで分離された 19 株を、赤血球溶血反応、ポリミキシン B 感受性、ファージ IV 感受性など生化学的性状を評価し、<i>ctxA</i>, <i>tcpA</i> などの病原性に重要な遺伝子群を分子生物学的に分析している。また分離年で選択した 26 株の系統についてパルスフィールド電気泳動解析を行い、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、1984 年までの分離株はクラシック型、エルトール型の性状を示したが、その後はクラシック型+エルトール型のハイブリッド型の変異株が出現し、2017 年には全てのコレラ菌分離株は新変異型に置き換わったことを明らかにし、遺伝子解析からは 1961 年に始まったエルトール型をバックボーンとして進化していることを見出している。今後のコレラ菌進化と世界的流行の分子疫学的研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文はコレラ菌研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			